

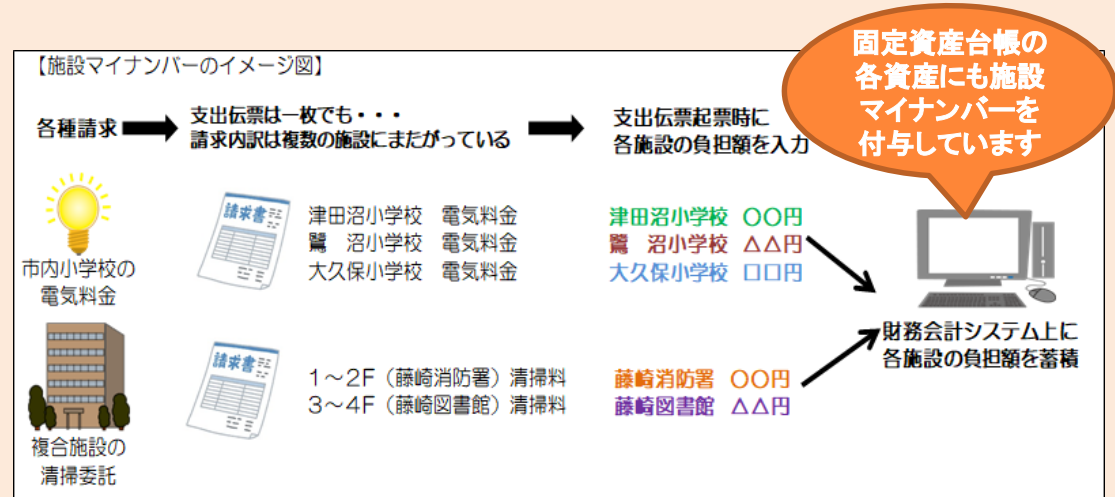
# 施設マイナンバーによる資産管理（千葉県習志野市）

## 事例概要

- 施設毎のコスト分析ができるよう、固定資産台帳の資産登録時に財務会計システムとの共通の「施設マイナンバー」を付記し、各施設に関するより精度の高いコスト情報を把握することとしている。

## 取組内容

- 財務会計システム上に各施設の情報を登録し、コード体系化する「施設マイナンバー」の概念を構築することで、財務会計システムでの予算執行（支出伝票起票）の時点で、各施設に係る費用を伝票起票担当者が財務会計システム上に直接入力する。
- 1枚の支出伝票で複数の施設にまたがる支出も、支出伝票起票の際に、各施設の支出額を財務会計システム上に記録する。



## 効果等

- 複数施設について一括して予算措置していたり、1つの施設について複数の担当課が予算措置していると、施設ごとのコストを算出する手間が掛かるが、施設マイナンバーを基に施設ごとに情報を整理しておくことで、当該施設に関係する支出額を容易に集計できるため、施設ごとのコストの把握が可能となった。